

# 地域支援センター「しせい」



福島県立相馬支援学校地域支援センター通信 No.1【令和3年5月10日発行】

若葉もゆる季節となりました。新年度もようやく軌道に乗ってきたところです。

今年度もこの通信で、地域支援センターの取り組みについてお届けしてまいります。

この相馬地方は、震災から10年経った今でも、その影響が色濃く残っております。県内の他の地域に比べて、資源が少ないこともあり、子ども達を取り巻く環境は万全ではなく、関係機関の方々と連携しながら支援の方向性について考えていく必要があります。地域支援においても、相双教育事務所と連携して、切れ目のない支援体制が構築できるようコーディネートしていくことが求められています。

また、相談支援ファイルや個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用しながら、幼保から小、小から中、中から高、高から就労など各段階の引き継ぎ時において、合理的配慮等の情報が確実に伝わるようにし、切れ目のない支援をつなげていくことが重要です。

「しせい」では、「つなぐ」をキーワードに、「関係機関をつなぐこと」や「支援の情報をつなぐこと」を大切に、相馬地方の特別支援教育の理解啓発、そして一人一人の児童・生徒がいきいきと学んでいけるような地域づくりに努めてまいります。

第1号では、センター長である本校校長よりあいさつを申し上げます。

## 「センター長あいさつ」 福島県立相馬支援学校長 和知 学

本校は南相馬市鹿島区に移転新築し、2年目を迎えます。

私たち教職員は、本校で学ぶ児童生徒一人一人の夢や希望の実現のため、

児童生徒や保護者の想いや願いを大切に、一人一人の可能性を信じ、もてる力を

最大限に発揮できるように教職員全員で支え、高め合う学校「チーム相馬」を掲げ、様々な教育活動に取り組んでまいります。「共生社会の形成」に向けて、「インクルーシブ教育システムの構築」のさらなる推進が求められております。また、県教育委員会が掲げる「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を進めていく必要があります。そのため、本校に在籍する児童生徒はもとより、相馬地方で学ぶ特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援体制を整えるとともに、地域の関係機関による連携した支援のもと、障がいのある子ども一人一人のニーズに応じた教育の実現と乳幼児期から学校卒業後までの切れ目のない支援体制の整備を進めるとともに、相馬地区での本校の役割を明確にし、地域支援センターを中心にしながら、学校全体で地域支援を進めてまいります。



## 地域支援センターの取り組み

### 切れ目のない支援体制整備事業

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校などから、特別支援教育に関する相談があった際に、相双教育事務所指導主事と連携し、相談支援や研修支援を行います。

### 来校相談、電話相談

・就学に関することやお子さんの発達に関する事など、相談をお受けします。  
・来校しての教育相談では、担当が授業の説明をしながら、相馬支援学校の教育内容の紹介を致します。

### ケース会議の実施

必要に応じ、校内の児童・生徒の皆さんについて、福祉等関係機関の方や保護者の方などを交えて話し合いをもちます。情報交換や話し合いをすることで、見えなかった課題が見えたり、有効な手立てが浮かんだりして、指導や支援の方向性がはっきりしてきます。

### 親子学級「すくすく」

発達に遅れがあったり、養育していく上で心配があったりする就学前のお子さんを対象に早期教育相談を実施しています。養護教諭や先輩保護者さんを交えての座談会や、ペアレントプログラムを中心とした講演会も実施します。

### 相馬地方特別支援教育研究会事務局

新地町、相馬市、南相馬市、飯舘村の各小・中学校の特別支援学級を担当している先生方と、本校職員のほとんどが在籍している研究会があります。研修会の企画実施や、先生方の授業実践をまとめた研究集録の発行をしています。

### 放課後等デイサービス事業所との情報交換会の主催

個別の教育支援計画を基に話し合いをもてるよう企画します。

### 教材等の貸し出し

2週間を期限とし、試しに使える教材を用意しています。お勧めの図書などもありますので、ご利用ください。

### 専門家派遣による研修

必要な本校児童・生徒について、言語聴覚士や作業療法士の方に実際に来校していただき、助言をいただき、指導に生かしていきます。

### 地域支援センター特別支援教育研修会

県内の特別支援教育に携わる方や専門職の方等を対象に、研修会を企画実施致します。

～よろしくお願ひします～



地域支援担当の飯田里佳子です。

お悩みのことや知りたい情報がありましたら、いつでもお声かけください。

子ども達がこれからの社会をより良く生きていくために、日々の支援や地域とのつながりを一緒に考えていければと思います。

お気軽にご相談ください。

専用電話

080—7216—7351 (飯田里佳子)

学校電話 0244—67—1515

文責：大和田 布佐子

